

# スーパーテールアルメ工法

[NETIS掲載工法 QS-060012-V]

スーパーテールアルメ工法は、従来のテールアルメ工法を都市開発型に改良した新技術です。信頼性、耐震性はそのままに、建設費総コスト低減と、景観性を追求しました。

## ■特徴

- ・ 経済性について  
補強部材の最適配置により、部材数量が低減し工事費を削減
- ・ 施工性について  
壁面部材の大型化により、設置効率向上
- ・ 安全性について  
天端形状に合わせた壁面部材が製作可能なため、足場を使う高所での現場打ち作業を軽減
- ・ 景観性について  
多彩なデザインが計画可能



## ■適用場所

- ・ 道路の盛土、切土工事
- ・ 公園、学校等の造成工事
- ・ 橋梁、立体交差などの橋台取り付け工事

## ■適用範囲

- ・ 最大壁高：H=12m以下（仮想壁高）
- ・ 壁面勾配：垂直
- ・ 標準曲線半径：R=30m程度
- ・ 切土工事、盛土工事

## ■特に効果の高い適用範囲

- ・ 壁高：H=5~10m

## スーパーテールアルメ工法でコスト削減

**30%** パネル設置時間を短縮

パネルを約1.5倍大型化することにより、設置作業の回数を大幅に削減しました。パネルは全て厳しい品質管理のもとに、工場で作られる長方形の形状をした規格品で施工性に優れ、工期の大幅な短縮を実現します。

従来の  
1500  
1500  
十字形の1.5m×1.5mパネル

↓

2700  
1200  
長方形の1.2m×2.7mパネル

面積  
約1.5倍

スーパーテールアルメ

**25%** ストリップ総延長の削減

ストリップの形状を幅広くすることで、土との摩擦抵抗力を増大させ、またそれらを最適に配置することで、求められている強度を保ちつつストリップ取付総延長の飛躍的な削減を可能にしています。

従来の  
4mm(厚)×60mm(幅)×L(長さ)

↓

80mm

●従来のストリップ  
4mm(厚)×80mm(幅)×L(長さ)

スーパーテールアルメ

**20%** 転圧回数を削減

転圧1層の高さが30cmになり、転圧回数的大幅削減が可能になりました。例えば、6mの盛土を施工するのに従来では24回の転圧が必要でしたが、スーパーテールアルメ工法では20回の転圧で実現可能です。

従来の  
盛土構築差 1m  
転圧1層高さ 25cm  
H=6m

↓

盛土構築差 1m  
転圧1層高さ 30cm  
H=6m

4層の差  
20% (1m) の改善

スーパーテールアルメ

各工法・商材の概要と特徴

もっと詳しく知りたい方は

お問い合わせ先 <http://www.hirose-net.com/>

代表：大阪/TEL 06-6532-6201 FAX 06-6532-4468  
東京/TEL 03-5634-4501 FAX 03-5634-0272